



Health Bulletin

ほけんだより



秋風が清々しい毎日、近くの山や公園の木々も少しずつ色が変わり始めましたね。過ごしやすくなってきたこともあり、毎日よく食べ、よく動き、遊びを楽しんでいる子どもたちです。朝晩は涼しくなりましたが、日中は夏のように暑い日があります。半袖と長袖を使い分けて体温調節に気をつけていきたいと思います。



No.43

2022年10月1日

Mothering



手足口病はご存じでしょうか？子どもの三大夏風邪のひとつに数えられています。手足口病について毎年流行のニュースが流れたり、保育園や幼稚園での集団感を引き起こしたりと、比較的身近な感染症とされています。夏は過ぎ去ろうとしています、現在じわじわと感染が確認されています。症状や予防方法をご紹介します。

【症状】

○口の中や手のひら、足裏などに2-3mmの米粒ほどの水疱性の赤い発疹があらわれます（かゆみや痛みはほとんどありませんが、口の中の発疹に痛みが出ることもあります）

○発熱

○喉の痛み、咳や鼻水といった風邪症状

→こういった症状がみられる場合は医療機関の受診をお願いいたします。

診断後の登園には登園許可証が必要です！

【予防】

手洗い・うがいを徹底しましょう。とくに帰宅後・排泄後・食事前は石けんを使用してしっかり手洗いしましょう。



★脳そだては順番とバランス★



こころ脳って何？

先月は「からだ脳」で起こった感情をそのまま行動に反映されてしまうと社会でうまくいかないことがおこるので、「お利口さん脳」の一部である前頭葉につないで、状況判断や記憶を使って理論的に思考した上で、最良の行動や言動を選ぶというお話でした。これは例えば、書類の不備を上司に怒られて怒り（情動）が起こったとしても、それがそのまま上司を殴る行動にはつながりませんよね。一旦怒りを前頭葉に繋いで、上司との関係や自分の社内での立場を考慮に入れ、「どうしたらこの場面を回避できるか」を考えた上で、「申し訳ありません。書類をすぐ書き直します」という言動が出てくるのです。大人になり社会に出るためには必須の脳機能と言えます。これが、「からだの脳」「お利口さんの脳」と順番に作られたのちに、やっと出来上がるのです。そう考えると、立派に社会で活躍する大人を育て上げるためには、乳幼児期から脳育ての順番を守ることが重要であり、中でも特に大切なのは、なんといっても土台である「からだの脳」育てである、ということがわかります。今回で脳育ては順番とバランスのお話は終わりになります。続きはまたの機会に！！

（母子健康協会 ふたばNo78より）

△医療機関受診のお願い△

朝、ご自宅にてお子様が発熱や風邪症状といったことがみられ、登園出来ない場合の医療機関受診をお願い致します。お医者様の判断を仰ぎ、受診結果をお電話にて園までお知らせください。また、体調不良による早退時も同様をお願い致します。お電話がない場合は、園よりお電話させていただく場合がございますのでご了承ください